

ホーム名：グループホーム柏原 いこい					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・堅苦しくなく心ある丁寧な言葉 使い。・他人に優しく、自分に厳しい。(すべての利用者様・ご家族様・近隣の皆様・役所方々・お世話になっている出入りの方々・共に歩む同僚)を理念に取り組んでいる。	理念は各ユニットの入り口を入った所に掲示されている。グループホーム柏原が目指す福祉支援の精神が謳われており、職員はこれをよく理解し実践している。	理念の捻出に至った理由を文書化し、パンフレットとして玄関に置かれてはどうか。訪問者にも深い理解が得られるものと思われる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を通し、様々な意見を頂いている。また、石川町区長様との連携を図り、地域の行事に参加している。	自治会に加入し、地元の方々と面識を深められ、地元へ溶け込むように努力している。日常的には町内の清掃活動が続けるなどし、地域の一員としての方向づけを定着させている。	自治会に加入してまだ間がないが、地元との接点をどのように活用していくかを課題とされ検討して頂きたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎朝、近隣の掃除を行う時や、散歩等外出時には、ホームスタッフからの挨拶を心掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1回、運営推進会議を開催し、そこで得た意見を再検討し、サービスの質の向上に活かしている。	二ヶ月毎の運営推進会議では市の職員から医療関係者まで幅が広く、相互の意見交換による知識向上に役立っている。会議からの日常支援の要請に対しては迅速な対応ができるよう取り計っている。	新しい取り組みがどう反映されたかを結果報告という形で文書化され、次回の議事録に記載されてはどうか。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	研修などがあれば積極的に参加するようにしている。また、市の窓口担当者に定期的に出向き、意見交換等おこなっている。	毎月、市に生活保護者の入居生活状況の報告をしている。市からの感染症関係の研修の紹介があれば、参加を求めたりしている。	施設と市は、社会福祉の面で共通した役割を担うところもあり常に緊密な関係の留意に努めて頂きたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修等に参加し学んでいる。施設内においては、管理者よりフロアリーダーによる徹底を指示している。また、経過観察を行い定期的にフロアでも検討している。	本施設は身体拘束のない介護を実施している。管理者は小さな一言から身体拘束に繋がると危惧しており、徹底した指導をしている。フロアのドアの施錠は入居者の安全と不審者の侵入を防止するためのものである。	見守り支援は身体拘束をなくする最も現実的な方法である。可能な限りの見守り支援の拡大を検討され、具体的な対応策の捻出を期待したい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所などでの虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加し学んでいる。施設内においては、管理者よりフロアリーダーによる徹底を指示している。また、定期的にフロアでも検討している。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等に参加し学んでいる。権利擁護・成年後見制度について学んでいる。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な時間をとり実施している。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様とコミュニケーションを図り、問題があれば適宜カンファレンスをおこない、問題解決に取り組んでいる。</p>	<p>家族会では、施設の運営に関わる意見や要望が提起される時がある。これらの案件は、運営に反映されるよう検討されている。</p>	<p>家族の訪問時の会話からも参考になるものがあり、可能な限り検討の対象として頂きたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>定期ミーティング時、各個人の意見や提案を発言する機会を設けている。</p>	<p>毎月、開催される常勤者会議やフロア会議などで職員は意見や要望を述べあっている。運営に関わる案件については、反映できる方向で検討している。</p>	<p>職員の意見は日々の介護支援を通して発言されるものが多く、その分特別の考慮も必要かと考えられる。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>努力や実績が認められた場合は、給与及び評価として賞与に反映される。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回常勤者会議を開催し、スキルアップに努めている。また、毎月フロア会議を行い業務の見直し、技術・知識の向上に努めている。また、月1回の職員研修においてもスキルアップに努めている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>大きな研修、訓練（消防訓練）等に、お互いどのようにしているか等話合う場を作り、月1回同業者との交流をもち、また、勉強会等おこない、サービスの質の向上に取り組んでいる</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面接に積極的に出向き、できるだけ会う機会を多くもつように心がけている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面接に積極的に出向き、できるだけ会う機会を多くもつように心がけている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況を十分に検討し、入居以外の方法も助言している。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご自身で出来る事はして頂き、出来ないことについても声掛けをおこない、ゆっくりと本人主導の介護をおこなっている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族様には面会に積極的に来て頂くように声を掛けている。また、行事が開催される際は、本人様と過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>オープンなホームを目指し、今までの交流が途切れないようにバックアップしている。</p>	<p>家族や馴染みの人の訪問は常時、受け入れている。 入居者の希望があれば可能な限り、実現への努力をする。 現在では入居者の記憶が希薄になってゆく傾向がみられ、職員が馴染みの人となっている。</p>	<p>近くの店や公園の休憩所も馴染みの場所になっていくと考えられる。新しい馴染みの場所作りの検討も是非お願いしたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>毎日の体操や個々にあったレクレーションを考え、利用者様同士の交流が出来るように常に考えている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も家族様に年賀状送付したり、電話での近況を確認し、関係を断ち切らないように努めている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の想いを大切にし、可能な限り希望に添える生活が送れるように努めている。	表現する事が難しい入居者の心を把握する方法として表情や態度の様子を観察するように心掛けている。従来からの願望と思われる件については、家族から話を聞くようにしている。	入居者の心理の変化については短期的なものか症状的なものかを見極め、正確な分析をされ対応されて頂きたい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	利用者様や家族様の方に話を聞き取りながら（利用者様が発した言葉等も）全職員でこれまでの生活歴等を共有し、本人らしい生活が送れるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的カンファレンスをおこない、個人ケア記録をもとに個々の1日の過ごし方、心身状況等を職員間で把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	「どのような生活を送りたいのか?」「どのようにすれば本人らしい生活が送れるのか?」を職員各々が日々考え、利用者様・家族様の意向に沿った介護計画を作成している。	ユニット毎に見合った計画づくりをし、入居者に適した対応をしている。職員の意見や家族の要望も参考にし、管理者自らの経験も踏まえた上で計画作成にあたっている。	3ヵ月を一応の区切りとして見直しされているが、新しい提案があれば、期限にこだわらず見直しをされるようお願いしたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア記録・フロアノートの中に気づき等記入し、カンファレンス時に計画の見直しをおこなうように活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ車を出し、利用者様や家族様の負担を軽減できるような取組をおこなっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年1回消防署より防火訓練の講習に来て頂けるように努め、利用者様が安心して暮らして頂ける環境作りに努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様・家族様の同意のもと、24時間体制で診てもらっている。	施設の協力医としてヤスダ・クリニックが入居者18名全員の診察と24時間体制の対応をしている。家族の要望があれば、従来からのかかりつけ医の受診も受け入れている。	入所前からのかかりつけ医と、協力医の選択が可能な、今の体制を維持して頂きたい。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>週1回、看護師が来所し利用者様の状況を報告し相談・助言を頂いている。また、異変がみられた際、すぐに連絡し指示を仰いでいる。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>ほぼ毎日面会に行き状態の把握に努め、退院時の迎え入れの準備を行っている。また、地域医療連携係や、担当看護師と状態などの情報交換をおこなっている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医を中心に、訪問看護師、ホームスタッフ、家族様と連携をとり、利用者様にあった方針を考え支援している。</p>	<p>入居時に重度化や、終末期への対応について説明をしている。家族は看取りまでを希望している方が多く、施設はその要望を受け入れるようにしている。主治医の判断がなされた時は、再度、家族と話し合わせ、尊厳ある看取りへの介助支援が行われる。</p>	<p>これからも看取り支援については他の入居者に影響を与えないような配慮をお願いしていきたい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを掲示し、周知徹底している。また、消防署職員の方に来て頂き、救急救命講習を受講している。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施。また、運営推進会議の際、地域の方の協力を得られるように働きをおこなっている。</p>	<p>火災・水害などの避難訓練は、消防署の指導に基づいた方法で実施されている。ホットラインの設置は心強い。火災については入居者を建物の外へ避難させ、水害については3階へ誘導させている。</p>	<p>近隣からの現実的な協力を得るために運営推進会議を通して、地元の代表者に積極的な働きかけをされてはどうだろうか。</p>

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介助中は、第三者から見られない聞こえないように、本人の自尊心を大切にしたいケアをおこなっている。	普通の生活のみならず介助支援時には特別の配慮がなされる。静かに話し掛けをし、トイレへ誘導したり部屋への介助を心掛けている。	人生の先輩者であるという認識は必然的に人格の尊厳とプライバシー確保に繋がっていく。これからもこの認識を深められ、共有しあって頂きたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との信頼関係の構築に努め、利用者様の意向に沿う生活が送れるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や起床時間、入浴、散歩は一人一人の時間や体調、気分に合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝、整容に努める。気候にあった衣類を着て頂けるよう支援している。また、理容・美容は2ヶ月に1回業者が訪問し、本人の希望を聞きその都度対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ある程度利用者様の希望も聞きながら個々でのメニューの変更もおこなっている。能力にもよるが準備、片づけ等出来ることは一緒におこなっている。	食事は専門業者に依頼したものの調理し配膳している。月に一度は、青空ランチと称して戸外にテーブルを出して皆で昼食を楽しんでもらう趣向もしている。食事の準備は少し難しい面もあるようである。	各人の好みに合った添え物も付け加えるなどの工夫もされてはいるかであろうか。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	個々の摂取量に応じた盛り付けをおこない提供している。また、利用者様に食事形態にあった支援をおこなっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施している。ご自分で出来る方は声掛け・見守りおこなう。出来ないかたはスタッフにて口腔ケアおこなう。また、週1回訪問歯科の指導を頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々のパターンを把握し排泄の失敗の軽減に努める。また、定期的な排泄誘導の声掛けもおこなっている。	自立での排泄に向けての声掛け誘導をしている。現在は自立排泄できる入居者は4人いる。他の入居者は加齢的な面もあるようだが、各人に見合った無理のない運動をしてもらい、足腰の衰えを防ぐようにしている。	長期にわたる恒久的な取り組みが必要である。運動による成果をグラフ化すれば、次へのステップの手掛かりになりやすいと考えられる。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は便秘の原因や影響について定期的におこなう勉強会で学び、水分補給や適度な運動、腹部マッサージ等おこない、便秘には注意する。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の希望にそって入浴できるように支援する。楽しんで頂けるよう入浴剤を使用し心の安定を図れるような支援をしている。	週2回の入浴が実施され同時に洗髪も行われている。身体が不自由な入居者には機械浴槽があてがわれている。機械浴槽は性能上、入浴剤は適さない。マンツーマン会話が一番楽しんでもらえる事が判明し、今ではその支援に取り組んでいる。	会話による支援が入居者の心を和ませているようである。これからも入浴を楽しんでもらう雰囲気づくりを願うものである。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活スタイルを大切に、昼寝をされたり、自由にご自分のペースで過ごして頂いている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬について疑問があれば、医師や看護師、薬剤師に相談し変化があればすぐに報告をおこない、支援をおこなっている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節に応じ外出行事をおこない季節感を感じて頂き、充実したホームでの生活が送れるように努めている。また天気の良い日は青空ランチを行い、随時散歩や買い物に行ける環境を整えている。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は散歩に出掛けたり、青空ランチなど、季節に合わせた外出を行っている。本人様が希望される時は買い物等の外出支援をおこなっている。月に1回スーパーのフリースペースで過ごせるように支援している。</p>	<p>施設の周辺は車の通交もほとんどなく、散歩に適している。施設の近くにある地蔵までを往復したり、堤防の上まで行ける入居者もいる。月に一度は近くのスーパーまで車で出かけたりにして外界との接触も図っている。</p>	<p>あまり外出を好まない入居者には少しずつ外出を誘ってあげ、外気浴の楽しさも教えてあげて頂きたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族様と相談し、利用者様の能力に応じた対応で支援している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状の返信など、本人様に書いて頂けるよう支援している。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日中はフロアが明るくなり過ぎないように自然光を取り入れ、落ち着いた雰囲気になるように努める。また、季節感のある花や掲示物などを飾るようにしている。</p>	<p>共用空間であるリビングの明るさはほどよい落ち着きを感じさせるものがある。壁には入居者と共に持った作品が掲示され、人的な温かさが感じられた。広い机は長時間寛げる場所として、ゆったりとした気持ちを抱かせてくれる。</p>	<p>図書物をもう少し増やされてはどうか。あるいはテーブル上での遊戯物があれば楽しいと思われる。一考される事を望みたい。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになったり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>状態に応じて席替えを行い、利用者様同士が交流をもてるように努めている。テレビを観たり、くつろぎの場として、活用できるようになっている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時より本人様の使い慣れた家具・寝具を持参して頂き、自宅に近い雰囲気作りを努めている。</p>	<p>居室は十分に広く、清掃もよく行き届いている。各人の好みの物も持ち込まれ、その人らしい個性的な居室づくりが演出されている。</p>	<p>部屋の広さのせい、もう少し生活感があればよいように感じられた。入居者の意向もうかがいながらセッティングの工夫も一考されてみてはどうか。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自室やトイレにはわかりやすいよう表札を掲示している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない